

県内市町も懸命のやり繰り

来年春の統一地方選に向け無駄なお手盛り予算も垣間見え…!?

駅前広場に恐竜出現！
景観ぶち壊し
なぜ恐竜にこだわる？

26年度当初予算案が福井県と県内9市で発表され、県と各市の3月議会で議論され承認される。福井県は一般会計4823億、特別会計121億、企業会計382億、合計で5326億円となり県民一人当たり67万1164円となっている。福井市は一人当たり78万1209円となり、福井市民は東村市長と西川知事に合わせて145万2373円の財布を預けていることになる。

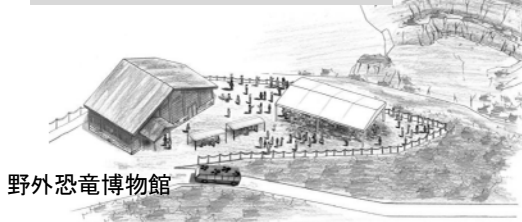
どこにどう使われているか、市民と県民が

ら選ばれた市議会議員と県議会議員は市民の代弁者であり、行政のチェック機能を十分に審議、議論し予算成立を願いたい。

市職員、県職員一人ひとりと幹部職員に至るまで無駄な出費を無くし、市民と県民生活の均衡ある向上に繋がる様、今一度点検すべ



野外恐竜博物館開館事業 55百万円



野外恐竜博物館



グリフィス記念館

福井県平成26年度当初予算5つの重点施策

ふるさと福井の新しい扉を開く

- 1 ふるさと福井が放つ「本物」戦略
- 2 活気を導く高速交通時代のまちづくり
- 3 新たな挑戦を生む産業政策
- 4 「幸福共感」、楽しむ福井の暮らし
- 5 未来に希望の人づくり



駅前広場に恐竜モニュメント3体